

- 移動図書館車「ともはと号」 更新から 10 年
～高齢者施設や幼稚園でも大活躍～ ……1 面
- 公民館図書室、公民館との連携 ……2 面
- 広島市立図書館を結ぶ物流ネットワーク ……3 面
- 図書館司書がおすすめるこの 1 冊! ……3 面
- この日は何の日? ……4 面
- 休館日のお知らせ 4月～6月 ……4 面

移動図書館車「ともはと号」 更新から 10 年

～高齢者施設や幼稚園でも大活躍～

移動図書館車「ともはと号」は、広島市内を走る、広島市唯一の移動図書館です。

「ともはと」という名前は、群れを成す鳥を「友鳥」と呼び、中でもハトは友を求める習性を持っていることから、知恵の宝庫である本を求めて人々が集まってくることを願って付けられたものです。そして、昭和 39 年（1964 年）の運行開始以来、半世紀以上にわたり、図書館から遠く離れた地域に住む市民にとって最も身近な「動く図書館」として愛されてきました。

車両としては 3 代目に当たる現在のともはと号は、平成 21 年（2009 年）3 月に更新され、10 周年を迎えました。この車両は、中型の 2.5 トントラックを改造したもので、本を積んだ台車（ブックトラック）を 10 台積載することができ、また車外に持ち出すこともできます。

この更新を機に、新たに高齢者施設 2 か所への巡回を開始し、さらに平成 24 年（2012 年）には特別支援学校へも本を届けるようにしました。これらの施設では、巡回に合わせて行っているおはなし会も人気で、ともはと号が訪れることで広く本に親しむきっかけとなっています。

さらに、地域の図書ボランティアの方々が本の配架や整理などを中心に積極的にご協力くださるなど、地域の人々のふれあいの場にもなっています。



ともはと号での幼稚園訪問

定期的な巡回の一方で、平成 29 年（2017 年）に、子どもの読書活動の推進の一環として、広島市立幼稚園への訪問事業を開始しました。ともはと号の見学や本の閲覧、おはなし会は、園児たちにとって、数多くの本に触れる機会となっています。

ともはと号を利用される多くの方々から、雨の日には「雨の中わざわざ来てくれてありがとう。」、夏の暑い日には「体調に気をつけて。」など、いつも気軽に声をかけていただきます。みなさんの笑顔と優しい言葉に元気をもらって、ともはと号は、巡回を心待ちにしてくださるみなさんのために、これからも走り続けます！



移動図書館車「ともはと号」と台車（ブックトラック）



ともはと号図書ボランティアの活動の様子

公民館図書室、公民館との連携

広島市内には、公民館が各中学校区に 1 館（佐伯区は各小学校区に 1 館、石内北小学校区を除く）設置され、全部で 71 館あります。各公民館にある図書室（図書コーナーを含む）は、その地域に住む方にとって最も身近な本を借りられる場所として親しまれています。

より多くの本に触れていただけるように、毎月、一般書・児童書合わせて 100 冊の本を中央図書館から送り、各公民館図書室からは同数の本が返ってくることで、本の入れ替えが行われています。

多くの公民館で図書ボランティアが活動されており、本の入れ替え作業や書架整理などを行っています。新たに図書ボランティアを募集される時などに、ボランティア養成のための講座が公民館で開催されます。中央図書館の職員が講師となって、入れ替え作業や書架整理、本の分類や展示の方法などについて説明しています。図書ボランティアの活動が活発な公民館では、ボランティアの様々なアイデアが本の展示などに活かされており、図書室の活性化につながっています。



図書館職員による図書ボランティア養成講座



公民館事業支援セット

図書室へ毎月本を送るほかに、「公民館事業支援セット」の貸出も行っています。平成 23 年（2011 年）の開始当初、利用が少なかったこともあり、公民館の主催行事等に合わせて、本の冊数や内容を自由に設定する方式に改めました。その後、年々利用が増え、現在では月平均 8～9 セットの貸出があり、講座やグループ活動、図書室の展示などの様々な場面で活用されています。

図書室は、乳幼児から高齢者まで幅広い年代の方に利用されています。みなさんにとって、より利用しやすく、また、図書室に足を運んでいただけるよう、0.1.2 歳の乳幼児向けの絵本を集めた「赤ちゃん絵本」や、通常の本より大きい字で書かれている「大活字本」のコーナーの設置や充実に向けて、公民館と協力して取り組んでいます。



公民館の赤ちゃん絵本のコーナー



公民館の返却ポスト

平成 22 年（2010 年）からは、市立図書館で借りた本を、市内の 71 の公民館に設置している「返却ポスト」へ返却できるようになりました。「返却ポスト」に返された本は、図書館と公民館を往復する月 2 回の連絡便に合わせて回収しています。利用される方からは、「図書館まで遠いので、近くの公民館に返すことができるようになり便利になった。」との声をいただいております。

これからも公民館との連携を通して、市民のみなさんの読書環境の充実を目指し、取り組んでいきます。



大活字本のコーナー

広島市立図書館を結ぶ物流ネットワーク

広島市立図書館 11 館 2 室をはじめ、返却ポイントとなっている店舗 2 店(イオン広島祇園店、福屋広島駅前店(10 階ジュンク堂書店内))と、当館と連携協力をしている県内の図書館 3 館(広島県立図書館、広島市立大学附属図書館、広島大学図書館)を結んでいるのは、図書館メール便です。

現在、運行している図書館メール便の車両は 3 台で、中央図書館を基点に、広島市立図書館全館や返却ポイントを 1 日 1 回の割合で巡回しています。(連携協力図書館は巡回頻度が異なります。)

また、各所で積み下ろしをしている箱の総数は、1 日当たりおよそ 450 個にも上ります。

返却された本を所蔵館へ、また、みなさんが希望された予約本を手元に届けるため受取希望館へ運ぶなど、多くの方々へ本や情報を届けるべく、図書館メール便は市内の各所を回っています。

広島市立図書館のサービスを支える、なくてはならない存在です。



各館へ搬送予定の資料が入った箱



図書館メール便の車両

図書館司書がおすすめるこの 1 冊！

児童書

『マチルダは小さな大天才』
(ロアルド・ダール コレクション 16)

ロアルド・ダール／著
評論社 2005 年



マチルダは頭の回転が速く何でもすぐに覚える子どもで、1 歳半で滑らかに話し、3 歳になる前に字が読めるようになりました。4 歳の時には図書館にある子ども向けの本を読み切り、大人向けの本を読み始めます。しかし、両親はマチルダの能力を認めず、辛くあたるばかりでした。

一方、マチルダは、父親の帽子にこっそり強力な接着剤を塗るなど、自分にできる仕返しをします。5 歳半になると、マチルダは小学校に通い始めますが、校長は子どもを投げ飛ばすような横暴な先生でした。始めは静かに様子を見ていましたが、ある日無実の罪を着せられると……。小さなマチルダの活躍が爽快な物語です。

一般書

『ぼくの命は
言葉とともにある』

福島 智／著
致知出版社 2015 年



9 歳で失明し 18 歳で聴力を失った著者が、これまでの人生で体験した苦悩とそこから見出した希望が語られています。

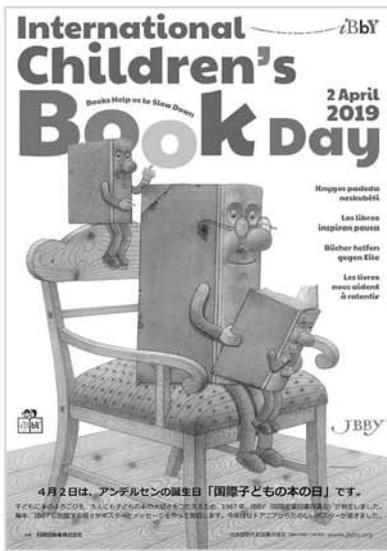
盲ろうの著者は手に直接点字を打ち込むように軽くタッチする指字という手法で、人と会話することが希望へと繋がっていきます。

また、幼い頃からの読みきかせや点字の触読によって、読書の楽しさを知り、点字図書館などを利用し、読書に親しんでいます。これまで熟読してきた多くの作品や魂に響いた言葉からどんなに生きる力を得てきたかが紹介されています。

人との関わりや本を通じて得た言葉の大切さを実感し、幸福の姿を考え、生きる意味を探し続ける著者の想いが伝わる一冊です。

この日は何の日？

4月2日は「国際子どもの本の日」



「国際子どもの本の日」2019年
ポスター（リトアニア共和国制作）

4月から5月にかけて、本や読書に関して数多くの記念日があります。そのうちのひとつが、スイスに本部のある国際児童図書評議会によって制定された、「国際子どもの本の日」です。

今から50年余り前の1966年に、ミュンヘン国際児童図書館の創設者で、第1回国際アンデルセン賞名誉賞を受賞した、イエラ・レップマン（Jella Lepman）が、ハンス・クリスチャン・アンデルセンの誕生日である4月2日を記念日として定め、毎年、各国で特別な催しを行うことで、子どもの本に対する一般の関心を呼び起こそう、と提案しました。国際児童図書評議会はこの提案を受け、翌年1967年に、正式に記念日として制定しました。

1969年から、この評議会の加盟国が毎年順番に、記念日に合わせて、子どもの本の面白さ、子どもたちに読書のよろこびを伝えるためのポスターを制作し、世界中へ発信しています。このポスターは、日本国際児童図書評議会を通じて、広島市立図書館はもとより、全国の公立図書館に届けられています。

この記念日に思いを馳せながら、この春、子どもの本に触れてみてはいかがでしょうか。

このコーナーでは、図書館や本、文学などに関わる記念日をご紹介します。

休館日のお知らせ 4月～6月

4月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

>>>> 特別整理期間による臨時休館のお知らせ

□ 休館日

- ※ 安芸区図書館 5月31日（金）～ 6月 6日（木）
- ※ 中央図書館 6月13日（木）～ 6月19日（水）
- ※ あさ閲覧室 6月20日（木）～ 6月26日（水）
- ※ 佐伯区図書館 6月27日（木）～ 7月 3日（水）

編集・発行

Hiroshima City Central Library
 広島市立中央図書館
 （公益財団法人 広島市文化財団）
 〒730-0011 広島市中区基町3番1号
<http://www.library.city.hiroshima.jp/>

代 表 082(222)5542
 本の照会・相談専用 082(222)6440
 F A X 082(222)5545
 （携帯電話 <http://www.library.city.hiroshima.jp/m/>）
 （スマートフォン <http://www.library.city.hiroshima.jp/sp/>）